

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 〒807-0879 北九州市八幡西区浅川町1-27

団体名 たけくに建設株式会社

代表者 代表取締役 佐藤 憲二

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	たけくにけんせつ かぶしきがいしゃ	
団体名	たけくに建設株式会社	
(ふりがな)	さとう けんじ	
代表者氏名	佐藤 憲二	
所在地	市内事業所	北九州市八幡西区 浅川町1-27
	主たる事業所	
事業概要	建築の設計・監理・施工 (住宅・店舗・介護施設の新築・増改築・リフォーム)	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種(企業のみ)	建設業	
従業員数(企業のみ)	6～20人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="http://takekuni-kensetsu.com/">http://takekuni-kensetsu.com/</a>	

## 連絡先

担当部署	設計部
担当者	佐藤 雅美
電話番号	093-691-1133
メールアドレス	<a href="mailto:info@takekuni-kensetsu.com">info@takekuni-kensetsu.com</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名 たけくに建設株式会社

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーを活用した電力会社を選択。</li> <li>事務所の照明や空調設備の高効率化、及び断熱性能向上への取り組み</li> <li>クールビズ・ウォームビズを推進し、節電や作業効率化を図り省エネ対策を行うよう社内に周知徹底</li> </ul>	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> <li>建築工事の工程や資材の管理を適切に行い、工事現場から出る廃棄物削減を推進</li> <li>工事現場から出る段ボールや木材、金属類等リサイクル可能なものの分別を徹底</li> <li>建設リサイクル資材の利用を促進</li> </ul>	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> <li>建築資材の中にグリーン購入法特定調達物品などを採用、推進。</li> <li>市内事業者を優先して調達することで、配送の省エネ化を推進。</li> </ul>	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> <li>バリューエンジニアリングによる建築の価値向上を推進。</li> <li>QCサークル活動により品質改善・向上の継続。</li> </ul>	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	経済(2)①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> <li>建築において次世代省エネ基準への適合や、ZEH住宅の推進、省エネ化のためのリフォムの推進を行い、ランニングでのエネルギー消費を削減することに取り組んでいる。</li> </ul>	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境(1)②
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働の防止のため随時、各自の仕事量の把握を行い、分担や調整を行うなど労働環境の整備に取り組んでいる。</li> <li>従業員の人材育成の一環として、資格取得のための有給休暇を推奨。</li> </ul>	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	経済(2)①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> <li>パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施</li> </ul>	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	経済(2)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の勉強会に管理職も従業員も参加し、ハラスメントは職場環境を悪くするほか、仕事の効率を著しく下げる事を学び、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。</li> </ul>	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	社会(1)③
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員に対して、定期的に健康診断を実施</li> <li>社内において指定場所以外での禁煙を実施</li> </ul>	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> <li>公的資格取得による資格手当や資格取得のための援助を実施</li> <li>各種研修や講習会、勉強会への参加を通して従業員のスキルアップ及び人材育成を実施</li> </ul>	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済(2)①
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に反社会的勢力に対する排除に関する誓約を取り交わしている。</li> <li>情報セキュリティ対策を推進</li> </ul>	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員向けにSDGs研修を実施</li> <li>持続可能な事業経営のため、事業承継に取り組んでいる。</li> </ul>	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	社会(4)③

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 4年 2月 21日

団体名 たけくに建設株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は2030年のSDGs達成年に「人と自然に優しい空間づくり」を目指しております。目標達成に向けて、弊社がどのように貢献することができるかを考え、社員一丸となりSDGsの取組みを推進していきます。

## ◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	ZEH(ネット・ゼロエネルギー住宅)導入の促進	指標 (KPI)	新築住宅ZEH導入率	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2030年 (その他の場合) ( )年	新築住宅のZEH提案 100%	具体的な取組
経済		従業員の人材育成及び健康寿命延伸の促進	指標 (KPI)	各種研修会・勉強会 講習会受講者	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2030年 (その他の場合) ( )年	2022年1人 ↓ 2030年3人	具体的な取組
経済			指標 (KPI)		指標
社会			目標値		
環境			(その他の場合) ( )年		具体的な取組

## 記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・ 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団 体 名 たけくに建設株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
8 地域コミュニティ活動への参加	人と人をつなぐ人の駅「Goose Lock」という、異業種で構成され社会貢献活動をしている会に参加しています。

## 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。